

能勢高校ニュースレター 2015新春号



能勢高校では、多くの皆さんに地域交流や国際交流などの教育活動や能勢高生の活躍ぶりを知っていただくため、学期ごとに「能勢高校ニュースレター特集号」を発行しています。今回の2015新春号では、2学期の活動を中心に構成いたしました。

ぜひともご覧ください。ホームページでも情報を発信しています。

<http://www.nose-highschool.ed.jp/>

本校創立60周年記念式典の開催

平成26年11月29日（土）能勢町浄るりシアターにおいて本校生徒、教職員、来賓、卒業生、地域の方々など約400名の参加のもと、記念式典を盛大に開催することができました。

昨年12月に同窓会・能友会・PTA・能勢高校を応援する会・教職員で構成される実行委員会が発足し、式典開催に向けて本格的に始動しました。事業の中身としましては、記念式典の開催、記念誌発行、記念事業の三つです。必要な予算については、同窓会にお願いし、PTAからも援助をいただきました。記念事業では、元本校教頭で現代書家の栗栖芳樹先生により校歌を書いていただき、体育館の校歌額を新調しました。

当日の第一部の記念式典では、多くの来賓のご臨席をいただき、真鍋政明 校長の式辞、芝久雄 実行委員長・伊藤順子 PTA会長の挨拶、尾崎智恵美 能友会長の記念事業披露、大成こころ 生徒会長が喜びの言葉を申し述べました。

第二部の記念行事では、軽音楽部、ダンス部、空手道部による元気な活動披露に続いて、陸前高田市長の戸羽太氏による講演が行われました。講演では、東日本大震災から学んだ教訓や復興について話していただきました。本校生に向けては、「陸前高田では当たり前ことができなくなった子どもたちがいることを知り、将来に向かって夢を持って励んでほしい。夢に向かって5年後、10年後の自分を描いて計画的に進めていくことが大切。」といった熱いメッセージをくださいました。創立60周年の式典に花を添えていただきました。



戸羽太 陸前高田市 講演



真鍋校長 式辞



芝実行委員長 挨拶



伊藤 PTA 会長 挨拶



尾崎能友会長 記念事業披露



大成生徒会長 喜びの言葉



軽音楽部



ダンス部



空手道部

能勢高校文化祭「大阪のてっぺん～地域とつながる文化祭～」

9月27日（土）秋晴れのもと「大阪のてっぺん～地域とつながる文化祭～」をテーマに文化祭を開催しました。地域の方々、小中学校、外部の連携団体、PTAや「能勢高校を応援する会」のご協力により、にぎやかな文化祭となりました。当日、能勢高生は、舞台や展示、模擬店等に大いに活躍しました。ご協力いただいた団体等の皆様には、この場をお借りしてお礼申し上げます。

＊ご協力いただいた団体：オイスカ関西研修センター、大阪大学モンゴル今岡ゼミ

豊中市立青少年自然の家 わっぱる、ノセボックス、能勢町立小中学校、本校PTA
能勢高校を応援する会、能勢町献血推進協議会など



連携中学2年生体験入学会・1年生授業見学会

連携中学2年生では、7月8日（火）に授業体験、10月17日（金）にクラブ体験を行いました。また、1年生では、11月11日（火）に授業見学会を行いました。このような機会をできるだけ増やし、中学生に能勢高校の教育をより深く理解してもらえよう取り組んでいきます。



第12回能勢地域小中高一貫教育研究発表会

平成26年11月21日（金）能勢町立東中学校において、第12回となる研究発表会が行われました。公開授業では、本校3年次生で東中学校の卒業生である苅田萌衣さん、瀬川幸永君、中垣内沙恵さん、中川拓未君の4名が東中学校3年生に対し、高校を決定する際に必要なことなどについて話してくれました。中学生にとり先輩からのアドバイスは進路選択の大きな参考になったことと思います。



能勢町付加価値創造協議会での中間発表会で報告

平成26年11月15日（土）能勢町交流促進施設（倉垣の交流センター）で「能勢町付加価値創造協議会」（能勢町銀寄委員会）の中間発表会が開催されました。本校農業クラブは、これまでの地域と連携した観光の取組や食品メニューの開発などについて報告しました。これから能勢町銀寄委員会と連携し、能勢町の6次産業化に向けた取組に協力させていただきますので、よろしくお願いいたします。



東日本大震災復興支援プロジェクト 米百俵 支援事業

平成26年10月24日(金)～26日(日)、能勢町ライオンズクラブ主催の東日本大震災復興支援プロジェクト「能勢米百俵」支援事業に、本校生徒15名がボランティアとして参加し、岩手県大槌町を訪問しました。生徒たちは、5つのグループに分かれて、仮設住宅415戸の一軒一軒に能勢米を届けました。

最終日は、陸前高田市の復興のシンボルである「奇跡の一本松」を見学しました。生徒たちにとって、被災地の様子を見るだけでなく、たくさんの人々と触れ合えたことは、とても貴重な経験となりました。



農場観光ツアー 大阪のてっぺん能勢町で収穫の秋を体験！

9月28日(日)本校農場で、昨年度に引き続き、京都新聞旅行センターとの共催による日帰りの観光ツアーを実施しました。当日は天候にも恵まれて、京都からツアーに参加された24名のお客様たちは、能勢高校生の案内による農場体験で、秋の一日を楽しく過ごされました。

このツアーは、2年連続で「全国高校生観光甲子園 優秀賞」に輝いた「能勢観光プラン」を商品化したもので、昨年度に初めて実施し、今回は2回目の実施となります。お客様に本校農場でしか味わうことのできない農業体験により、秋の一日をゆったりと過ごしていただくことと、高校生たちが企画・準備から当日の運営まで主体的に行うことが、この観光ツアーの実践の最大のコンセプトです。

お客様の中には昨年度の参加者の方も数名おられました。皆さんから「また来年も参加したい。」「年に1回と言わずに、複数回実施してほしい。」等の声もいただき、満足度がとても高かったことが伺えました。今回のツアーを通じ、生徒たちは、大きな自信と確かな充実感を得ることができました。また、能勢町の観光施策の推進につながる、大変有意義な取組となりました。

大阪のてっぺん能勢町で収穫の秋を体験!
能勢高校農場部の高校生と過ごす日

出発日	集合時間	観光お値段
10月29日	大槌口 12:00 大槌駅前 12:00 能勢町 12:10	おひとり 5,980円

お土産 栗(500g)、みどう 持ち帰り可(200g)

京都新聞ツアー広告より



ブドウ収穫体験



クリ拾い体験



養蜂体験



お客様のお見送り

卓球・人権作文コンクールでの表彰

本校3年次生 山本飛鳥君が大阪府立実業高等学校総合体育大会 卓球競技の部男子シングルスで優勝し、10月9日(木)能勢町役場にて、山口禎町長から能勢町長賞が授与されました。

「命の大切さを学ぶ教室作文コンクール」では、12月3日(水)豊能警察署にて、1年次生の芦田純平君(豊能町長賞)、小谷麻菜美さん(能勢町長賞)、原田朔弥さん(豊能警察署長賞)が表彰されました。



山口町長からの表彰



人権作文表彰

大阪国際大学との高大連携 英語研修ツアー

8月23日(土) スーパーグローバルハイスクール アソシエイト校の取組として、高大連携協定校である大阪国際大学との英語研修ツアーを実施しました。



今回の英語研修ツアーは、多くの外国人観光客が訪れる京都清水寺で、高校生と大学生とがグループになり、英語で外国人観光客に話しかけて観光案内するものです。本校からは、生徒6名

(1年生5名、3年生1名)が参加しました。各グループとも苦労しながらも、約3時間で外国人観光客2組以上を案内できました。



「ユネスコスクール世界大会 高校生フォーラム」への参加

平成26年11月5日(水)～11月7日(金)の3日間、岡山市のホテルグランヴィア岡山に世界各地から32ヶ国の高校生が集まり、「ユネスコスクール世界大会 高校生フォーラム」が開催されました。本校からは2年生1名と1年生5名が参加し、大阪・岡山の他のユネスコスクール生徒たちと協力して会議の運営に携わり、フォーラムを成功に導きました。

フォーラムへの参加を通じ、これからの未来社会の主演となる高校生たちが、それぞれの役割を自覚し、受け身でなく主体的かつ創造的に協議・活動することを大いに学びました。

「がんばれ能勢高生！」～先輩からのエール～



能勢高校に進学した理由は、能勢高校が総合学科に変わり進学に力を入れており、放課後講習などを受けられたからです。能勢高校ではラグビー部を創り、他校との合同チームで何度も公式戦に出場しました。生徒会に入り、生徒会長も務めました。とても充実した3年間でした。この経験があったからこそ私は大学に進学し、今の仕事に就けたのだと思います。消防士という仕事は精神的にも肉体的にも厳しいですが、全力で駆け抜けた能勢高校での3年間が、私を支えてくれています。先生方が生徒一人ひとりのために真剣に取り組んでくれる能勢高校で、充実した3年間を過ごしてください。

平成21年卒 55期生 河崎 響平 さん

神戸市消防局勤務 (鳥取大学 農学部 生物資源環境学科卒業)

母が看護師をしていることもあり、昔から看護師になる夢を持っていました。能勢高校で自分の進路を考えていくとき、なかなか自分の成績にあった学校が見つかりませんでした。そんな中、先生が熱心に可能性のある看護専門学校を探してください、新しくできる評判の看護専門学校を紹介してくださいました。私は、少人数での授業や放課後講習などで頑張り、この看護専門学校に入学することができました。専門学校入学後の勉強も大変でしたが、看護師国家試験に合格し、今、箕面市立病院で働いています。能勢高校での先生の熱心さとつながりが、今も私を支えてくれています。



能勢高校では先生方が一人ひとりに親身になって向き合ってくださいるので、みなさん、何事にも一生懸命取り組み、楽しい学校生活を送ってください。

夢は、必ず実現します！

平成22年卒 56期生 美谷 奈央子 さん

箕面市立病院勤務 (大阪医療看護専門学校卒業)